



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第一五〇号）

啓蟄 けいちつ

三月五日

御朱印帳

近頃、お伊勢参りは内宮、外宮だけではなく、神宮に關係する一二五社を巡る人も増えてきました。そんな中、御朱印帳ごしゅいんちゆうをもってお参りする人もいます。

御朱印とは、お寺や神社に参拝して、社寺の社務所などで押印や墨書きをいただくというもの。もともとはお経を書き写し、お寺に納めた証にいたくものでしたが、今は参拝記念に受けることができます。それだけにお寺で受けるものと思っていたのですが、伊勢神宮でも内宮と外宮、それに別宮で御朱印が受けられるのです。二〇代の友人が、「御朱印帳を持ってお参りするの楽しいです」とうれしげに教えてくれました。社務所で神職の方に書いていただき、そして話ができるのが魅力なのだそう。御朱印は単なるスタンプラリーではなく、それによって神社とコミュニケーションがとれる、つまり繋がりをもてるのが人気なのでしょう。

季節も暖かくなってきましたし、私も御朱印帳をもってお伊勢参りをしてみようかと思いましたが。

そんな折、神路屋の二階で美しい御朱印帳を見つけました。どちらかという御朱印帳は地味で、種類もないように思っていたのですが、意外にもここでは自分の好きなものを選ぶことができます。表紙は布生地や赤やオレンジ、青と色とりどりで、かわいらしい図柄のものもあります。これなら若い女性も持って参拝したくなるはず。

私も一冊選んで、購入しました。御朱印帳には住所と氏名を記入しておくようにと注意書きがあります。なんでも最近では数冊を一度に預かる社務所があったり、また忘れたときにも便利だからということ。まずは、名前を書いて、参拝することとしましょう。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 五十鈴川桜まつり

五十鈴川のソメイヨシノが咲き誇る季節に合わせ、水面を彩る桜を愛でながら、花見屋台、お花見料理などでしっとりとしたお花見をお楽しみください。

と き / 3月下旬～4月上旬 (桜の開花に合わせて)

ところ / 五十鈴川河川敷一帯

● 花見屋台

田楽や団子、お酒、弁当などの風流な屋台が並びます。赤もうせんの縁台に腰をおろし、のんびりとお過ごしください。

● 桜尽の市

桜をかたどったお菓子や桜の柄が可愛い小物など春の季節商品が所せましと並び、まさに春爛漫「桜尽くし」の屋台です。

● 花見弁当

季節料理を詰めたお弁当をご用意します。旬の食材をふんだんに使い、各お店それぞれの持ち味を存分に発揮したお弁当です。

五十鈴塾

○ 桜を折る

日本人は昔から限りある「命のシンボル」として桜を愛してきました。本居宣長は桜を日本人の「こころ」そのものとしてとらえ、「敷島の大神和心を人とはば朝日に匂ふ山桜花」という和歌を詠んでいます。

三月の折り紙は「桜」。二階堂先生の「桜」、どんな風に仕上がるのか楽しみです。

と き / 3月7日(木) 13:30～15:30

講師 / 二階堂 黎子 (日本折紙協会師範)

参加料 / 一般2,000円 会員1,500円

ところ / 五十鈴塾右王舎

※お問合せ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

はるがすみ
春霞

羊羹と浮島で、草木が芽吹く山々をかたどり、陽炎もかすかに立ち昇る春霞の景色を表しました。

さわらびしゅう
早蕨薯蕷

よもぎを加えた薯蕷生地でこし餡を包み、春の風情そのままに、淡い緑で彩りました。うららかに続く、里の弥生を思わせるかのようです。

さほひめ
佐保姫

粒餡を雪平と羊羹で包み込み、この時季の気分を、喜びとともに、みやびの心で表現しました。